

岐大のいぶき

No.12
2006/OCTOBER

発行日:平成18年10月
発行:国立大学法人 岐阜大学
岐阜市柳戸1番1
☎058-230-1111(代表)
ホームページ:http://www.gifu-u.ac.jp/

GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI

Published by GIFU UNIVERSITY



学ぶ意欲に応える岐阜大学

岐阜大学理事 山本 晃 ——— 2

地域と大学

動物を通して社会と繋がる 応用生物学部附属動物病院

附属動物病院長 深田 恒夫 ——— 3

話題の研究

学習CDを用いた器械運動における 指導法の確立に向けて

～正しい運動イメージの獲得のために～

教育学部 教授 山脇 恭二 ——— 4

エッセー

「先生、僕 感謝しました。」

工学部 助教授 吉田 弘樹 ——— 6

授業風景 ————— 8

彫塑Ⅱ(教育学部)

食品生命科学実験(応用生物学部)

臨床実習(医学部)

サークル紹介 ————— 10

児童文化人形劇研究会(コロッポ)

水泳部

座談会 ————— 12

なぜ“まちづくり”なのか

大学への想い ————— 15

「次の世代に託す

真のグローバル化」

イビデン株式会社 代表取締役社長 岩田 義文氏

平成19年度学生募集人員 ————— 16



岐阜大学

学ぶ意欲に応える岐阜大学



私の娘は高校3年生である。大学受験を控えて追い込みに懸命であるが、そんな娘とのある日の会話、「大学に行つて何をしたいんだい」。曰く、「栄養士になる勉強がしたい。将来、スポーツ選手を支える仕事につきたいから」。彼女の友達の数多くも、大学へ入ることを目標にしているのではなく、大学に行つて何を勉強したいか、をちゃんと考えているとのこと。迎える大学側にとって、具体的な目標をもつて入ってくる学生は頼もしいし、手強くもある。魅力あるカリキュラムを提供するために日々研鑽を積みなければ。

国立大学は、平成16年4月から法人になった。法人になった、ということは、自らの手で大学を経営していかなければならない、ということだ。教育や研究のための運営費は、一定のルールで国から交付されるが、学生に納めてもらう学費も運営のための重要な財源になっている。常に数多くの学生が集う岐阜大学であり続けなければならぬ。教育・研究の魅力を常に磨いておかなければ。

もう一つ。法人になって、国立大学は目標や計画を自ら



国立大学法人岐阜大学

理事
山本 晃

描き、その達成に向けて努力することになった。もちろん教育の改革や改善についても、具体的な目標を掲げている。「絵に描いた餅」で終わらないよう、その達成度が文部科学省に設置された有識者の委員会によって評価され、その結果が社会に公表される。目標達成のため不断に努力しなければ。

文部科学省より赴任して6ヶ月、岐阜大学が「教育重視の大学」として活動していることを改めて認識した。研究への比重が重くなりがちな国立大学が多い中、本学の理念は、「教育に軸足を置いた教育研究大学」と明確にうたっている。文部科学省では「優れた教育実践」に対し予算を措置する制度を設けているが、本学の5つの教育プログラムがそれに選ばれている。また、平成16年度の評価においても、教育の質の向上のための幾つかの取組が注目されている。岐阜大学の「教育重視」の証である。

岐阜大学は、本学で学ぼうとする皆さんの期待に応えられるよう、質の向上を目指して日々進化しています。



動物を通して社会と繋がる応用生物科学部附属動物病院



深田恒夫 附属動物病院長

以前の「家畜病院」から「動物病院」に名称が変わりましたね。

深田 本院は、臨床獣医学の教育・研究を目的として設置され、主に開業獣医師の紹介症例を中心に診察体制を組んでいます。病気の動物を通して獣医学が地域社会に還元されていることは従来とまったく変わっていませんが、より市民のニーズにあった名称として、家畜病院から動物病院に変更しました。

名称以外に、何か変わったことは？

深田 獣医師になるための教育を充実させるため、診療に携わる教員を倍に増やしたことで、研修医や動物看護師を新たに雇用したことです。診療科も従来の内科、外科のほか、腫瘍科、放射線科、および

大動物診療科を新設しました。腫瘍科って「がん」を専門で診る科ですか？

深田 そうです。ペットも人と同じように、腫瘍、「がん」になる率が高くなってきたので、国立大学法人としては初めて設置することになりました。また、「大動物診療科」は、畜産県岐阜という土地柄、牛の診療が中心になっています。全国獣医学系大学の中で、診療頭数、収入面ともにトップクラスです。

建物が増築され、高度な医療機器も導入されたそうですね。

深田 増築したところに外科系診療室と手術室を立ち上げました。ここで、高度な手術（写真1）が同



写真1 CT写真を参考に手術が進行します。

時に3例行えるようになりました。動物に対しても最高の獣医療を受けさせたいとの要望に応え、設備面では、16年度にX線CT装置（写真2）、本年度には簡易な放射線治療器を導入しました。このことによつて開業医師からの紹介症例が増え、今では、初診の約60%以上を占めています。



写真2 犬のCT撮影は、動かないよう麻酔をかけます。

地域貢献という点ではいかがでしょうか？

深田 本院は、中部地方での唯一の大学附属動物病院であり、この地区での中核病院といつてよいでしょう。これまでも施設や設備の充実を図ってきましたが、今後は、MRIや大型の放射線治療器など大型機器の導入が急務であると考えています。また、地域の開業獣医師への卒後教育の一環として、本

学の臨床系教員が講師となり年3回の臨床セミナーを開催しています。夜間に行っていますが、皆さん熱心で、毎回100名以上の方が勉強に來られます。このセミナーを通じて、開業獣医師との信頼関係を築き上げています。

我々一般市民が飼っているペットを直接診察してもらおう場合はどうしたらよいですか？

深田 開業獣医師の紹介症例は、予約制をとっています。ですから一般の方も、前もって電話連絡をしていただく方が待ち時間が少なく、診察をスムーズに進めることが出来ます。ご協力をお願いします。

〈動物病院の診療案内〉

受付時間

月曜日から金曜日 9:00~11:30

電話

058-293-2962/2963

場所

応用生物科学部棟の東に位置します。
(医学部附属病院の敷地とは異なりますので事前に確認してください。)



学習CDを用いた器械運動における指導法の確立に向けて 正しい運動イメージの獲得のために

教育学部保健体育講座 山脇 恭二

1 映像のもつ力

日本男子体操団体が2004年のアテネオリンピックで28年ぶりに金メダルを獲得したことは記憶に新しいことと思います。私も、選手として1984年のロサンゼルスオリンピックに出場して団体に銅メダルを獲得、また2000年のシドニーオリンピックでは、10年間指導した娘とともにコーチとして出場しました。体操競技

技では、独創的な技を生み出し認められると開発者の名前が付けられますが、私の場合も幸いなことに鞍馬、吊り輪、平行棒、鉄棒の各種目で「ヤマワキ」の技があります。娘も段違い平行棒で世界初の技「伸身新月面宙返り」に挑戦しましたが、残念ながら失敗して「ヤマワキ」の名前をいただくまでには至りませんでした。その4年後、「映像で見る山脇佳奈の10年間の記録(オリンピックの道)」と題して講演をする機会をもちました。講演内容は練習中に撮影した300本以上あるビデオを約1時間にとめたも

のをみながらの解説です。ノンフィクションの世界ですから、もの凄いい反響があり、目でみることできる、ごまかしのきかない映像のもつ力に改めて感心し、「論より、証拠」を強く感じました。

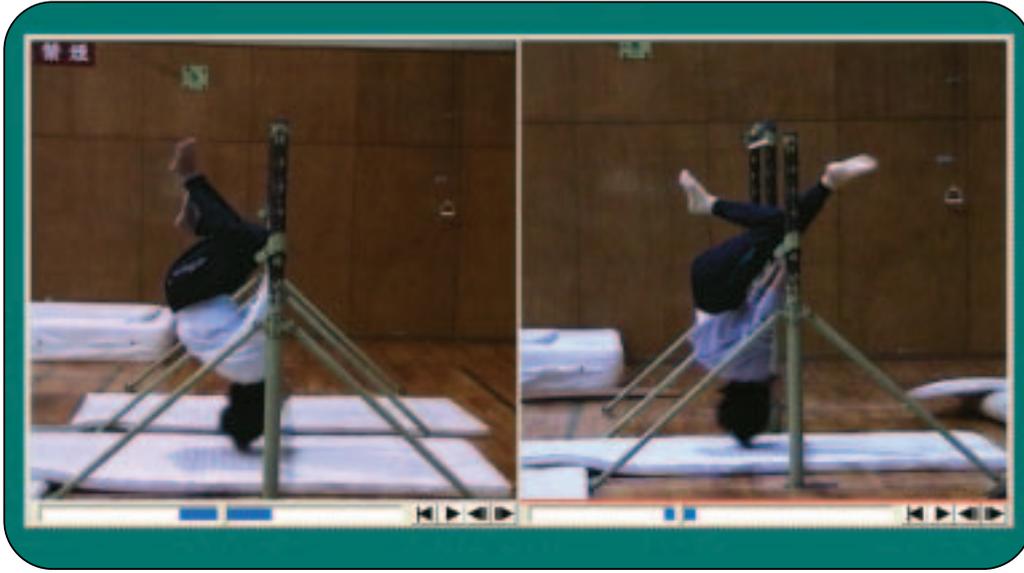
2 論より正しい運動(動き)イメージの形成

1993年と1994年に低鉄棒の前回りと後ろ回りの指導法に関する研究を行うために、これらの運動ができない学生、計217名を対象に練習会(1993年は12回実施、1994年は8回実施)を催しました。その結果、次のような技術的な難点が明らかになりました。すなわち、前回りにおいては、回転をつけるための身体

の動かし方、後ろ回りは、鉄棒を中心にする身体の動かし方で、この2点は技の習得のための技術というものではなく、練習者自身の身体をコントロールする能力と関係するものです。したがって、この点を考慮し、指導法をいろいろと考案しながら、今日まで実技指導を展開してきました。教え



モスクワ五輪選考会(1980年)の筆者



学習CDの実際の画面 左の写真は練習初期の逆上がりができない段階、右は初めてできた段階のもの。このように、動きの違いを比較しながら、繰り返し、逆上がりの上達過程を観察できるようになっています。

られる側の学生の身体面および精神面も時代の流れとともに変容しており、それに対応する指導方法も考え直さなければならなくなってきたことを痛感します。

山本五十六語録で「やって見せ、言つて聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」と説いているように、「これは、このようにするのだ」、「この理論は、○○○だ」を伝えるだけで効果的に学習が進むのであれば苦労はありません。特に運動(動き)を教える場合はなおさらなことですが、正しい運動(動き)イメージの形成⇕理論⇕練習⇕評価・反省の過程が大切なこととは言うまでもありません。2001年には2つの動画を同時に見ることで、

同時に見ることのできる動作解析支援システムを使用して、よい動きとそうでない動きやその日の練習前後の動きなどを、2画面で比較させ

たところ、技の習得に大きな影響力を与えることがわかりました。つまり、2画面を同時に比較することで、動きの誤りの指摘などは「正しい運動(動き)イメージの形成」に繋がると考えられたからです。さらに、2002年には後ろ回りの動作分析を行い、できない原因を数値化し、2004年は器械運動における練習方法を踏まえた学習CDの試作のための資料整理および資料収集を積極的に進めました。

3 学習CDの製作

運動(動き)を教える者として、どのように運動(動き)が発生し、どのようなプロセスで動きを覚え、修正し、改善して、技

能を高めていくかという過程を知っていることは非常に重要なことです。その意味では、映像で見る山脇佳奈の10年間の記録は「論

より証拠」であるからこそインパクトの強いものであり、オリンピックなどの世界大会を目指している選手にとっては道標そのものになると思います。このことは、できない運動(動き)を身に付けようとする時も同様で、できなかった者ができるようになった過程をみることで「こんな感じなのか」、「こんなタイミングなのか」と、「正しい運動(動き)イメージの形成」がなされ、そのことこそ、練習に対する方向性やモチベーションに大きな影響を与えるものと考えられています。本格的に学習CDの製作を進めて2年経ちましたが、今年(2006年)の10月には、大学生協での販売を予定しています。



シドニー五輪(2000年)の山脇 佳奈

「先生、僕 感激しました。」

工学部 吉田 弘樹

昨年、講義の後に一人の学生に呼び止められました。そう云われると悪い気がしないものですが、よく聞いてみると講義ではなく、私の自己紹介に感激したと云うのです。その頃、NHKで土曜ドラマ「氷壁」が放映されており、私が紹介した岐阜大学山岳部がそれに重なるというのです。ドラマの舞台K2は、我が山岳部にとっても関係深い山で、OBの一人が登頂し、私もアドバンスド・ベースキャンプまで、入ったことがあります。

ところで、「山岳学」って知っていますか？

知ってたら、あなたは識者か、それともかなりの雑学？がお有りとお察しします。では、「今西錦司」はどうですか？京都大学で霊長類学の創始者、その一方では当時の日本を代表する冒険家の顔もお持ちの学者です。この今西先生は、わが岐阜大学の

学長（1967・1973）でもあった方です。岐阜に来られるや、山屋の集まりを作られました。山屋と云うのは樵シロや猟師ではなく、趣味で山に登る人達のことです。岐阜の名峰の名を付けたその集まりは「御嶽会」と呼ばれ、他の山岳会とはチョット趣きを異にしていたそうです。聞いた話ですが、「ヤブ山からヒマラヤ」と云われ、岐阜の奥美濃の低山から世界の高峰を志向されたそうです。町のオジさんが云うならムチャな話に聞こえるかも知れませんが、今西先生が発案されたとなると「そうか！」と思わせるものがあります。今や携帯電話は珍しくなく、チョモランマから電話ができる時代ですが、今西先生が未踏峰を登られた時代は、GPSの「G」どころか、満足な地図さえも無かったはずです。整備されていないヤブ山を登ることこそがヒマラヤに通じていたのでしょう。そんな方ですから、山に対する造詣が深く、麓に宿を取って、その地の食や文化に触れ、山中では、動植物、気候、郷土史などを学ぶなど、山を中心とした地域の総合的な学問として山岳学を提唱されたのです。

この気風が、現在の岐阜大学山岳部にも脈々と

受け継がれているように感じます。始めはごくごく普通の大学生で、高山植物に見とれ、ピシリと星が瞬く天の川に驚き、カモシカや熊にビックリしていた者が、やがて岩壁や氷壁を登り、マイナス30℃でも平気で寝たりします。1969年のアフガニスタン学術調査隊を始めとし、岐阜大学単独あるいは他の山岳会に加わって、多くの海外の山々（ハツタル1986年、クラウン峰1993年、麒麟峰1994年、ウルタルⅡ峰1996年、K2西壁1997年など）に足を運んでいます。今年、K2を女性登頂最少年齢で達成した他大学顧問からも「大学山岳部で勢いがあるのは岐阜大学だ。」とも言われました。

私はかつて、麒麟峰遠征に参加する機会に恵まれました。その時の隊員の中に、日本を代表するクライマーと言われた山崎彰人がいました。麒麟峰遠征の2年後、彼はパートナーと2人でウルタルⅡ峰という未踏峰に挑み、先鋭的なアルパインスタイルで、世界で初登頂しました。しかし、下るのも困難を極め、奇跡的にベースキャンプまで帰還したものの、その翌日に亡くなってしまいました。その10年後、2005年10月8日に、彼が亡くなったパキスタン北部で大地震があったのは、まだ記憶に新しいことです。その地域の支援が手薄であることを知るや、山岳部OBらが中心となって復興支援を始めました。岐阜大学の学長や理事をはじめ各務原市長も後見人となって、毎月8日の街頭募金、3回の現地調査とインフラ整備など、宗教や文化上の配慮をしながらの支援を行っています。簡単に倒壊





▲1994年岐阜大学山岳部初登頂の麒麟峰を望む



▲麒麟峰(7,091M)アタック隊登頂

してしまった現地の家屋の代わりに、耐震構造モデルハウスも検討します。医療面の支援も進めます。ここまでできますと、かつての山岳学は、もはや山の枠を越え、人々の心を動かす活動にまで広がっているように感じられます。

最後に今西先生の言葉を紹介します。

「地元のヤブ山ぐらいは、なんの雑作もなく歩けるのでなくては、おかしいはずだが、まだ、なかなかそうはゆかない。精通していない証拠であろう。それにしても、ヒマラヤの山でさえ、このごろは、たいてい一度で成功しているのに、一度で成功できるとはかぎらない山登りが、こんな標高の低い地元の山にあるなんて、なんというおかしな、また考えようによっては、なんと恵まれたことだろう。これではいくつになっても、山登りから足が洗えそうにない。」
(今西錦司：「自然と山と」1971年)

LESSON SCENERY

彫 塑 II

教育学部学校教育教員養成課程4年 寺田祐也

授 業 風 景

「彫塑II」の授業では、裸婦をモデルに、粘土で2分の1の全身像を制作しています。まず、モデルをデッサンしポーズを決めてから、粘土での制作に入ります。モデルをよく見て、人体の構造や動きを確認しながらつくっていきます。しかし、モデルをそのまま写すだけではなく、自分なりの表現を求めていかなければいけません。週に1回の授業ですが、真剣に自分の作品と向き合い、自分の表現を見つげるために、ついたり削ったりの試行錯誤を繰り返している時間はあっというまに過ぎていきます。そして、自分の求める表現が生まれた時には大きな喜びを味わうことができます。学期末の授業の講評会では先生からはもちろん、学生同士でも意見を交流し、お互いを高めあっています。裸婦モデルを実際に見ながら制作する機会はあまりないので、とてもいい経験になりました。



食品生命科学実験

応用生物科学部 2年 原川裕成



食品生命科学実験では、実験の基本操作や化学反応についての原理、実験器具の利用法、微生物、植物及び動物を材料とした形態観察などについて学習します。この実験では、化学や生物に対する基礎的な実験を通じて、それらについて理解を深めながら、実験における必須の基本操作を習得することができます。実験は今年から2人1組で実施することになり、昨年の4人1組から、さらに密度の高い実験実習となりました。精密な実験を2人で共同で行うので、絶対にさぼれません(笑)。実験には、高校時代にはない、これまで扱ったことがない教材も多数登場します。例えば、ラットの解剖、クロマトグラフィによる物質の分離、微生物の観察、クロロフィルの定量による野菜の鮮度評価や人間のガン細胞の観察などです。また、材料が目新しいだけでなく、最新の実験手法を含んでおり、講義では味わえない一時を過ごすことができました。

臨床実習(ポリクリ)

医学部医学科5年 成瀬 香奈子



医学部の学生は、5年生になると大学の附属病院で臨床実習(ポリクリ)を行います。

臨床実習には、見学型、模擬診療型、診療参加型があります。従来は見学型が大部分であったのですが、いま、岐阜大学の

私たち学生も、同意をいただいた患者さんの治療に加わり、実際に診察を行います。また、この病院のカルテは完全電子化されており、複数の人が同時に、同じ患者さんのカルテをみるすることができます。そして、学生も医療チームの一員として、電子カルテ上に学生の記録として書き込むことが許されています。(医師と学生の記述が混同されないよう、色分けして区別されています。)

もちろん、診察の現場は、実習といえども、全力で取り組んでいます。実際に処方される検査や薬のオーダーなど、リアルタイムに処置される医師の診断や治療計画を参考にしながら、学生として自分の未熟さを恥じつつも、カルテに自分の意見を書けるという気負いも一層の向上心となって、信頼される医師になれるよう日々研鑽を重ねています。また、本学診療体制の特徴となっている複数の診療科のチームワークによる医療の現場には納得させられるものがあり、得難い学習となっています。

Puppet show



▲公演先での舞台設営

サークル紹介

コロッポは、主に人形劇を通して子供たちと交流をすることを目的として、活動しているサークルです。

人形劇は、人形・舞台・背景・脚本・演出など、すべて自分たちの手作りでを行っています。年間の活動内容としては、まず、夏休みまでに人形や背景の制作と劇練をします。そして、8月中旬には巡回公演を行います。また、秋には地元で依頼公演を行い、冬には来期に向けた脚本を制作します。

巡回公演は、コロッポの最大の行事であり、約100日間にわたって岐阜の各地をまわり、人形劇の公演やレクリエーションを通して子供たちとふれあいます。そこで、子供たちの純粋さや無邪気さに触れ、ふれあうことの大切さなどを体感します。

活動外では、みんなで買い物に行ったりご飯を食べに行ったりと、いろんなイベントなどを通して、仲間と多くの時を過ごし、絆を深め合いつつ、有意義な大学生活を送っています。

児童文化人形劇 研究会(コロッポ)

Swimming



▲東海地区国立大学体育大会 10連覇の笑顔

サークル紹介

水泳部

私たち水泳部は、男女合わせて約30人で活動しています。部員は初心者からインカレ出場者までと幅が広く、それぞれが目標をもち、練習に取り組んでいます。

水泳は個人競技ではありますが、岐阜大学水泳部はチーム力がとても強いチームです。そのチーム力は諸大会であらわれ、今年の東海国立大会では女子が”10連覇”という偉業を成し遂げました。これはとても喜ばしいことであり、女子だけでなく男子も含め、チームが一丸となり努力した結果です。私たちの目標は女子が連覇し続けることと、多くの部員がインカレ、全国国公立大学選手権に出場することです。

また大会だけでなく他大学との交流も盛んです。シーズン中には交流戦を、オフシーズンには一緒にスキーに行くなどして交流を深めています。このように水泳だけでなく、多くの大会やイベントを通して楽しく活動しています!!

テーマ

なぜ、まちづくり“なのか”

■出席者

興膳 健太

(岐阜大学地域科学部 4年次)

藤村 喜章

(岐阜大学地域科学部 4年次)

大石 諭香

(岐阜大学地域科学部 4年次)

■司会者

橋本 永貞子

(岐阜大学地域科学部 助教授)

もって岐阜を好きになつてほしい！

橋本▼今日はお忙しいところをお集まりいただき、どうもありがとうございます。興膳さんは、試験が終わったばかりだそうですが、出来はどうでしたか？

興膳▼いやあ、そこは、……、まあ、後期も頑張ろうと前向きに考えています。(笑)

橋本▼今日は、皆さんが関わっている岐阜の“まちづくり”活動についてうかがいたいと思います。まず、具体的にはどんな活動をしているんですか？

興膳▼ORGANという、プロジェクトチームに所属していて、岐阜のい

ろんな人に出会ったり、町を歩くイベントをしたりしています。

大石▼百年鮎構想とか、里山再生トラストとか、活動の範囲は広がっていますね。

橋本▼それは、どんな活動？



興膳▼百年鮎構想は、岐阜のシンボルである長良川に

鮎を戻そうというプロジェクトで、長良川の流域圏で持続可能な地域社会を作るといふものです。里山再生トラストは、郡上の耕作放棄地を復活させようという活動です。

橋本▼休田じゃなくて、耕作放棄？

興膳▼もう放棄。持つてるけど、作れなくなつたので、そのまま放つたらかしくいう状態。棚田が特にどんなに放棄されている。そういうところを、一口20平米でオーナーを募つて、経済的支援をしてもらい、その支援で郡上の人が管理し、何とか放棄地を復活させようと考

えています。ORGANはそのオーナー

になっているので、月一くらいで草刈りに行っています。

橋本▼岐阜市内ではどんなことをしているんですか？



大石▼おととい、水うちわサロンをしました。水うちわは、

10年前に生産がストップしてんですけど、岐阜の伝統を守ろうという事で企画したんです。

興膳▼原料になる和紙が無くなり、竹や職人が少なくなつてきて、生産がストップしてたんです。それをORGANの代表の蒲(かは)さんという人が、和紙を探し回つて、やっと高知県で見つけ、今では一人しかいない岐阜のうちわ職人に、「この紙で作つて」という話をし、去年、ようやく「もの」ができたんです。

橋本▼水うちわってどんなの？

大石▼うちわの先の方に水をつけ

て扇ぐんです。

興膳▼半透明なうちわなんです。

橋本▼浴衣着て桶持つて…見世物

でした。キャラバンみたいな(笑)。

橋本▼ORGANというのは、いつか

ら活動しているの？



「もの」としてもすごくおしゃれで、紙なのに透き通つて見えて、すごくきれいです。

大石▼水うちわサロンは、まず料亭で皆さん(集まった人)とおしゃべりして、鵜飼船乗り場のあたりにうちわを作つてるところがあるんですけど、そこを見学しながら川原町や伊奈波通りなどの古い町並みを歩きます。



藤村▼ももとは僕らが1年の時にGeneによるまちづくりの中の雑誌部門という形で始まったんです。それが、編集長が芸術肌の人だったので、Geneの枠に縛られないものを作りたいということで昨年の4月に独立しました。

大石▼名古屋ばかりに目を向けるのじゃなくて、岐阜の人が岐阜のことをもっと好きになれるようにということ、活動しています。

足元から考えたい



橋本▼そもそも最初にもこういうまちづくりに参加しようと思ったのは、どんなことがきっかけですか？

大石▼私は、世界中を取材しているフォトジャーナリストの方々のサポートをずっとしているんです。それで、世界情勢にはほとんど詳しくなくて、世界情勢にはほとんど詳しくなくなっていくんだけど、でも毎日の日常生活からは、どこか遠い世界のこのように感じてたんです。飢えとか戦争とか。

橋本▼うん、うん。

大石▼それで、ももも足元から考えたいという気持ちがあがります。自分の足元といえれば、やっ

ぱり岐阜とか、岐阜大学ですけど、そこで活躍されている方の話を聞きたいなと思ってるころへ、蒲さんや興膳君と知り合いになって、まちづくりに関わるようになったんです。

橋本▼興膳さんは、もももとまちづくりをやりたくて地域科学部に来たんですか？

興膳▼そうですね。ぼくは3年次編入で入学したんですけど、地域・まちづくりをやりたいということ、で受験しました。

橋本▼来た直後からまちづくりに参加してたの？

興膳▼そうですね。もももと福岡にいた時は、環境問題に興味があったんです。最初はみんなが環境についての情報さえ持てば、環境問題は解決できると思っていて、情報発信しようとして活動してました。でも、子どもに発信する時って、例えば石油があつたら何年でもなくります。なんて言うんですけど、そういうのが嫌になつてたんです。子どもは素直に聞いてくれるんだけど、何も悪くない子どもが何で脅迫めいたことを言われたいといけなかつたのか。そんな頃にドイツに行つたんですけど、ブドウ畑へ散歩に連れて行つてもらった時にドイツの人が、自分の町が好きだつて言つたんです。

その発想は今までの自分には無いもので、自分の町が好きだつたら、環境問題は解決するじゃないか！って、単純な発想に至つたんです。それで、自分の町が好きになる活動を地域の人たちと一緒にやりたいなと思つたわけなんです。



藤村▼僕は、小中高と団体行動が嫌いだつたんです。

受験に失敗し、就職しようと思っても何をしたいのか分からなくて、二ヶ月くらい自問自答し、その割には一日十二時間くらい寝るという生活を送つて、それである引越し会社で働こうと思つたわけなんです。ところがそこで見えた生活というのは、思い描いていたようなものとは全然違つていて、これではない、勉強しようと思ひました。その時に、学生というのは、失敗が許されるんだということ、文化祭や体育祭というのはチャレンジの場であるということにも気が付き、大学生になつたらそういう活動をしたいと思つて受験勉強しました。大学生になつて、いろんな講義を受

けるうちに、勉強は机の上に向かうたり、教室に来ることだけじゃないということも分かつて、他の人にも、後悔しないようにいろんなことにチャレンジしてもらいたいという気持ちもあつて、僕の場合は、地域科学部というコミュニティが中心なんです、活動をしています。

どうしたら伝わるのか…

橋本▼それぞれの活動をしていて、つくづく感じることはありますか？

藤村▼僕なんかは、人に押し付けられることはしたくない、気づいて欲しいと思うんですが、そういうスタンスではなかなか伝わらない。目的はしっかりしてるけど、戦略の面でどうしたらいいのか悩みますね。

興膳▼僕は、子供たちをまきこむことを考えていて、駄菓子屋をやる面白いなと思つてました。そこへちやうど、カフェと駄菓子屋をやりたいという人がいて、お願いして駄菓子屋を任せてもらつたことになつたんです。口コミでだんだん子供が集まるようになって、来たのは良かったんですけど、子供が増えてくると、一人で店番と子供との遊びもできなくなつてきて…。友達に声をかけたけど、その駄菓子屋が長森にあつたので、「遠いね」ということで、仲間も増えず、2ヶ

月で閉店することになっちゃいました。どうやったら伝わるのかって、考えましたね。

橋本▼失敗してもいいんだよ。

興膳▼いやー、へこみましたよ。

藤村▼そこから何か学ばないんだよ。

興膳▼でも、この3人がこの場に居合わせているのも不思議な気がする。運命を感じますね。

藤村▼僕のような個人主義だった人間は、なぜ出会わなければならぬのか、なんてことを考えるんです。自分の人生を決めるのは、結局のところ誰かとの出会いだと思います。

興膳▼でも、岐大生って出会いや語り合う場が少ないよね。僕が岐大にきて一番ビックリしたことは、食べる所と飲み屋が少ないことでした。「どこで飲めばいいんや〜」って。
大石▼駅から大学まで、バスで往復するだけで、柳ヶ瀬に行ったことがない岐大生は結構いるんです。まさに関わるきっかけも少ない。

岐阜の学生で団結して

岐阜について考えたい

興膳▼けれども、何かをやりたいとくすぶっている学生はいて、そんな人たちに火をつけたい、変われるきっかけを提供したいと考えて

て、飛騨高山学生会議というのを企画しています。

橋本▼それは、全国から学生が集まるの？

大石▼今年は第3回目なんですけど、今回は《みんな地域に出て行くこう！》ということで、岐阜について考えたいので、岐阜の学生を中心に声をかけようと思っています。岐阜にたくさん大学があっても交流が無くて、バラバラに行動しているんです。まずは、出会いの場を提供して、会議の後にも交流したり活動したりのきっかけを作りたい。

橋本▼それで、熱く語り合う？

興膳▼はい、6つの分科会に分かれて、それぞれ地域活動、地域教育、

森林、農業、労働、ジェンダーのテーマで話し合います。

大石▼今年はNPOを巻き込んで、分科会に入ってもらおうと思っています。そうすれば、会議が終わったあとも、動きやすくなるじゃないですか？この会議は、私たち3人の4年間の集大成なので、結構な思い入れがあります。代表が、興膳で、私は副代表を、藤村はリーダーをやります。

興膳▼副代表の方が、偉いんですけど…。

大石▼まちづくりのNPOが、私の地元の大垣にはたくさんあるけ

ど、あんまりつながってない。祖父母や父がそういう所で活動してるのを見てるんだけど、何か胡散臭いし、そんなのがまちづくり？と思うところがあつたんです。だから家でも孤立してました(笑)。ただ、今回の会議のことでは、父も理解してくれて、協力してもらえることになりました。

楽しいことは自分で見つける

橋本▼こんな充実した学生生活を送っている皆さんから、高校生へメッセージをお願いします。

藤村▼僕は、大学で何をしたいと決めずに来たんですが、いろんな講義があつて先生がいて、どれが自分に合ってるのか、信じられるのか、どの道に進もうかと考えました。学問的な情報を得、それを消化して活動に繋げてきたと思います。逆に活動したものを自分の研究に生かし、政治思想史の分野で市民活動の今日的意義を探ろうと思うています。これは、地域科学部だからできたことで、例えば文学部だところはいかなかったと思う。

大石▼私はもともと親に勧められて岐大に来たんですけど、大学に入って、自由になると何していいかわからなくなるんですよ。私はラッキーなことにボランティアを始

め、いろんな人に出会えたから良かったですけど、何か楽しいことないかなと思ってる人もいます。もつと自分から行動できるはずだし、行動して欲しいなと思います。

藤村▼楽しいことは自分で見つける、待つても来ないんだよ！

興膳▼とにかく妄想したものの勝ち、思ったもの勝ちです。つらい受験勉強を支えてくれたのは、大学に入ったら何しようということでした。

大学に入ったら、人に会いまくれと言いたいですね。素敵な人に会つたら、ついて行ってどんどん吸収したい。そして自分の価値観で生きることを貫けば、後悔はないのかなと思います。そんなこと言っていると、将来は芋の蔓かじって、リヤカー引いてるかもしれないけど…

大石▼しょーがないなーって、仕送りしてあげてたりして(笑)。

興膳▼人の力で生きてる、生かされています。

橋本▼10年後、20年後を楽しみにしています。今日はどうもありがとうございました。

※Cmp... 起業家の人材育成を通じた地域活性を行う事業型NPO法人

大学への想い



21世紀に入り、社会・経済・文化などあらゆる分野でグローバル化やIT化が進展を加速し、たとえ地方を地盤とする企業であっても世界的規模での競争と柔軟性ある対応が必要とされています。

当社においては、1912年に電源開発を目的に創業を開始して以来、電気化学工業製品から住宅用建材製品、セラミック製品、電子関連製品へとそれぞれの時代の技術に留まることなく、既存の技術から新たな技術へと、常に技術の変遷の連続でした。

これからも社会を取り巻く環境は変化を続け、熾烈な競争が繰り広げられ、それらに対応し、進化できない企業は淘汰されていくでしょう。

このような時代こそ、資源に乏しい日本にとって、魅力ある新しい科学技術を創出する人財が必要であり、それらが我が国の運命をも決する重要な課題となっています。

国には国境がありますが経済の世界には国境はありません。我々企業活動はグローバルな競争の中でし

のぎを削っています。

また世界に目を向けて感じますことは、グローバル化に適応するには、主体性をもって迅速かつ的確にレスポンスすることが重要であり、我々が育った40年前と違い、英語をはじめとした外国語が必要不可欠だと痛感しています。

振り返りますと、母校岐阜大学の先進・先駆的な創造環境と良い恩師に巡り合えたことが今日の財産となっています。今でもそれらの風土が受け継がれていることをとても誇らしく思います。

母校で学ばれる、次の世代を担う若者達に託したいことは、岐阜大学の先駆的風土の中、目的意識を持ってしっかり基礎を固め、豊かな教養を身につけて欲しいという願いです。そして昔に比し多くの留学生もいます。そんな中で広い視野を持って国際的に通用する語学能力を磨きながら、自らの考え方を主張し、行動できる心豊かな人財に育てて欲しいと希望します。

「次の世代に託す
真のグローバル化」

イビデン株式会社
代表取締役社長
岩田 義文

平成19年度学生募集人員

学部	課程・学科	入学定員	一般選抜		特別選抜			
			前期日程	後期日程	推薦入学Ⅰ	推薦入学Ⅱ	社会人	帰国子女
教育学部	学校教育教員養成課程	200	107	68	2	23		
	特別支援学校教員養成課程	15	10	5				
	生涯教育課程	35	23	9	3			
	計	250	140	82	5	23		
地域科学部	※ 地域政策学科	(50)	65	20	5	8	2	
	※ 地域文化学科	(50)						
	計	100	65	20	5	8	2	
医学部	医学科	80	30	35		15		
	看護学科	80	47	20	10		3	
	計	160	77	55	10	15	3	
工学部	社会基盤工学科	60	43	5		12		
	機械システム工学科	60	45	5		10		
	応用化学科	55	40	5		10		
	電気電子工学科	60	40	10		10		
	生命工学科	60	45	5		10		
	応用情報学科	70	50	7		13		
	機能材料工学科	55	40	5		10		
	人間情報システム工学科	50	32	10		8		
	数理デザイン工学科	40	30	5		5		
計	510	365	57		88			
応用生物科学部	食品生命科学課程	80	50	16		13		1
	生産環境科学課程	80	55	7	7	10		1
	獣医学課程	25	20			4		1
	計	185	125	23	7	27		3
合 計		1,205	772	237	27	161	5	3

(注) 推薦入学Ⅰは大学入試センター試験を課さない推薦入試、推薦入学Ⅱは大学入試センター試験を課す推薦入試です。
 ※選抜試験は学科の区別をせず、学部単位で行います。
 ●詳細については「入学者選抜に関する要項」「学生募集要項」等で確認してください。

大学・学部情報問い合わせ先 ●入学試験、教育・研究、大学院、就職・進学

学部(問い合わせの内容)	担 当 係	電 話 番 号(直通)	所 在 地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156、2157	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2206、2356	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3025、3009	
工学部	工学部学務係	058-293-2371、2377	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-2838、2839	
医学部・医学科	医学部学務第一係	058-230-6075、6076	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
医学部・看護学科	医学部学務第二係	058-293-3217、3218	

大学入試センター試験 平成19年1月20日(土)、21日(日)
 前期日程試験 平成19年2月25日(日) [教育学部実技検査 26日(月)]
 後期日程試験 平成19年3月12日(月)



広報誌の編集に携わって2年目になるが、岐阜大学には様々な研究をなさっている先生や、若者らしい夢を持った学生がいるとつくづく思う。しかも、それぞれの研究や活動が、それだけで閉じているのではなく、一般の社会や市民に繋がっていることも、当たり前ながら改めて評価できる点であると思う。今回は、理事の経営的立場からの思いも掲載したが、岐阜大学が目指そうとしているところをご理解いただければ幸いです。(橋本)

岐大のいぶき編集委員会 委員長/橋本永貢子(地域科学部) 委員/箕浦 秀樹(工学部) 加藤 正吾(応用生物科学部)
 宗 友厚(医学系研究科) 嶋原 猛(総務部)

岐大のいぶきについての 送付先/岐阜大学総務部総務課広報室 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
 ご意見・ご要望をお待ちしています。 TEL058-293-2009 FAX 058-293-2021 E-mail:kohositu@gifu-u.ac.jp

表紙:紙:応用生物科学部と黄葉(作者:工学部助教授 杉浦 隆)
 広報誌名の由来:「いぶき」は、滋賀・岐阜県境にある伊吹山と活動をもよおす気分・生気・活気意味する息吹をかけており、岐阜大学の「いぶき」を感じてほしいという願いが込められています。